



大槻 ゆり子 議員

高齢になっても
生き生き
元気な市民の
健康増進を図ろう

市民の健康づくり強化は。

健康推進アプリBIWA=TEKUを活用し、
運動習慣の普及啓発に取り組みます。

答

重要性の啓発や糖尿病の重症化予防を強化します。

市民の聞き取り調査をす
る中で改めて市民の健康つ
くり強化の重要性を実感し
ました。

問 地域包括ケアシステ
ムなどの市の取り組み
を更に市民に理解して
もらうには。

答 健康福祉部長

あらゆる機会を通して、
わかりやすい言葉や表現で
の情報提供に努めていま
す。

問 生活習慣病対策の重
点的な取り組みは。

答 健康福祉部長

特に腎疾患による医療費
が増加傾向にあり、健診の

問 「あしたの体操」以外
で中高年向けの運動指
導は。

答 健康福祉部長

タオル体操の紹介やポー
ルウォーキングに使用する
ポールの貸出し、民間の運
動施設と連携した取り組み
など運動機会の提供に努め
ています。

問 健康ポイント制度の
更なる取り組みは。

答 健康福祉部長

商工会高島スマイルカー
ド会のご協力のもと、集団
健診・がん検診・健康教室

に加え、平成29年から離乳
食教室参加者にもポイント
付与を拡大しています。本
年1月から健康推進アプリ
「BIWA=TEKU」に
参画し、楽しみながらポイ
ントを貯めていただき市民
の健康、意識の高揚に努め
ています。

問 「BIWA=TEKU」
の高島市の活用は。

答 健康福祉部長

ウォーキングを始めとし
た運動習慣のきっかけづく
りや市内の観光名所等を巡
るコースを設定し市外から
の来訪者の拡大などを期待
しています。
今後、アプリ登録者の拡
大に努めます。



健康推進アプリ BIWA=TEKU のチラシ

問 フレイル予防の推進は。
答 健康福祉部長
平成28年から医療・介護関
係者で「摂食・嚥下に関する
ワーキンググループ」を結成
し、フレイル予防の認識を高
め、研修会を開催していま
す。今年度は市民向けの講演
会を計画しています。

※BIWA=TEKU

滋賀県内の各市町が実
施するモバイルスタ
ンプリリー等への参加や
検診の受診や健康に関
する目標を達成するこ
とで健康ポイントを貯
めることができるア
プリケーション。

※フレイル

健康な状態と日常生活
でサポートが必要な介
護状態の間

その他の質問

●通学路の安全対策強化に
ついて

新たなごみ処理施設建設の
方向性を問う

新たなごみ処理施設建設スケジュールは過密では。



福井 節子 議員

答

候補地の公募の際に、状況を注視してまいります。

問 市のごみ処理政策方針は。

答 環境部長

27年12月に高島市環境センター在り方検討委員会から提出された後継処理施設の整備・運営の在り方の方針が示された答申を尊重し、ごみ処理施設建設検討委員会で議論いただき基本構想に反映していきたいと考えています。

問 30年度のスケジュール

は7月の委員会を経て、8月から新たなごみ処理施設候補地の公募となるが、3か月間で地域での話し合いが持たれ応募の条件整備が可能とお考えか。

答 環境部長

4月に区長会で説明させていただき、地域でご協議いただいで、皆さんの意見が反映されるよう期待しているところです。

問 区長会では4月に説明があり、公募期間終了まで半年近くあっても条件説明はこれからで、30年度のスケジュールが過密と感じる。候補地は立地自治体や周辺住民の意見集約が必要で、以前の質問には「場所決定には相当の期間が必要」との答弁だった。3ha以上の土地が必要との事だが、公有地を活用しての提案なども考えているのか。

答 環境部長

県内の施設でも公募が多く、参考にしております。また条件が示せておらず3ヶ月は短いですが、状況を注視してまいります。

問

候補地公募と市民合意は、時間がかかっても十分な話し合いが必要だ。今後のスケジュールをスムーズに進めるためにも、市民合意は大前提。在り方検討委員会からも「市民業者・地元地域の理解・協力が不可欠と情報共有を十分に図り、理解を得ながら取り組まれたい」旨、提言があった。十分な協議が必要だ。

答 環境部長

検討委員会には、ごみ処理政策、選定・処理方法・規模・運営方式まで協議・意見を求めることになる。議会協議はどう位置づけられるか。

次、報告させていただく考えです。

●万が一の原発事故から健康を守るため、ヨウ素剤の戸別配布を
●高校生の通学にも、支援を

その他の質問



高島市環境センター



高木 広和 議員

高島市の
雇用促進と定住

ニーズに合った移住定住の補助金を。

移住定住に必要な制度を検証し、見直しをまいります。

問 市内の企業や事業者への就職をさらに進めるための今後の具体的な取り組みは。

答 商工観光部長

就職フェアを毎年開催し、さらに高島地域雇用創造協議会では、求職者を対象に合同面接の開催をはじめ求職者向けのセミナーを開催するほか、本年度から草津市内のホテルで地元企業を対象とした、就職フェアを開催します。
またSNSを活用した地元企業の魅力の情報発信の方策についても研究してまいります。

問 今年初めて市外で開催される就職フェアの現状と今後の展開について。

答 商工観光部長

県内外の大学に学生の参加依頼をし、市内の多様な業種の参加のもと開催します。また開催結果を検証し、さらに有効な方策を研究してまいります。

問 高島の魅力を活かした経済の活性化につなげる「ターンの促進について何う。

答 市民生活部長

移住に関する補助制度として、子育て世代が空き家を取得する際の「子育て世

答

帯リノベーション事業補助」「定住住宅リフォーム補助」「定住住宅取得補助」などの制度があります。

問 若者のUターン、Iターンが経済活動と連動する補助金制度になるよう工夫も必要では。

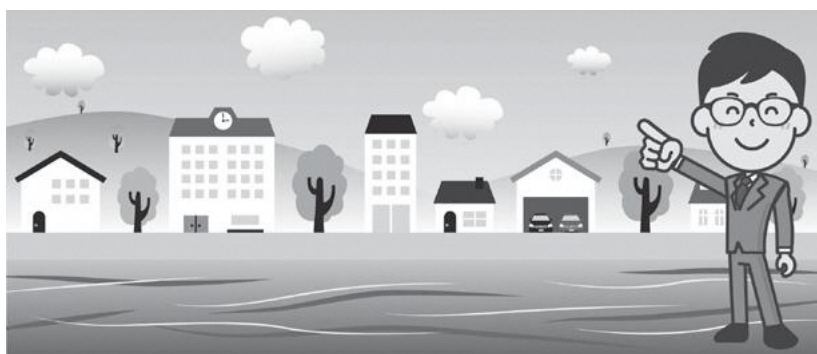
答 市民生活部長

移住定住のために住宅等を建築される場合の補助金は、市内業者の請負を要件としており、また地域産の木材を活用した住宅の建築に対する補助制度もあります。これらを活用いただくことで地域経済の活性化にもつながると考えています。

問 移住定住の補助金は、時代の変化に応じた、その時々ニーズに合った制度が必要と考えるが。

答 市民生活部長

ニーズの変化も見極め、移住定住に真に必要な制度を検証し、見直しをまいります。



平成28年度熊本地震後に行われてきた熊本市の
対応から、高島市で生かせることについて

災害発生時の市職員間の安否確認や 情報収集にSNSを活用してはどうか。



機部 亜希 議員

答

本格的な導入につきましては検討が必要と考えております。



会派で視察した熊本城の様子

問

災害発生時の市職員間の安否確認や情報収集の手段として、SNSの活用を検討されているかどうか。

答

政策部長
LINE等のSNSについては緊急時等の情報収集手段の一つとして非常に有効であると考えております。危機管理局では行方不明事案等の発生時には、LINEを活用し情報共有を図っております。

しかし、本格的な導入につきましては、検討する必要があると考えております。

問

職員の方が受援体制についてどこまで熟知されているのか、また物資に対応する人材や場所の確保、整理方法は十分なのかどうか。

答

政策部長
県や近隣市町、民間団体との相互協力体制について、地域防災計画で定められております。このことについて、市職員がさらに熟知できるように防災訓練等を通して習熟に努めてまいります。受援計画については、全国的にも始まったばかりで、滋賀県でも策定を予定されているため、情報収集に努めてまいります。

問

習熟していくため、実際に動けるようにイメージできる訓練を検討してもらえないか。

答

危機管理監
新たな訓練の導入についても検討してまいります。



熊本城復旧の様子

問

車中避難者を想定された上で対策を行っているのか。

答

政策部長
地域防災計画では車中避難について想定しております。せんが、災害発生時には、相当数の車中避難者が考えられることから、今後情報収集に努めてまいります。

問

避難所運営において各小学校区単位で地域を取りまとめていく人材の必要性についてはどうお考えか。

答

政策部長
各地域の防災リーダー等を対象に毎年研修を行い気運の醸成に努めているところです。

問

防災リーダーと並行して地域のキーパーソンを各地でお願いし、避難所運営について学んでもらえないか。

答

危機管理監
他の自治体の取組を研究しながら、災害ボランティア活動連絡協議会の防災士の皆様のご意見もお聞きした上で、防災リーダー等を養成してまいります。

その他の質問

●要介護認定者数抑制のための対策について



是永 宙 議員

子ども園の運営について

保育士の負担軽減のために
「保育補助者雇上強化事業」に取り組んでは。

他市の事例も勘案しながら調査研究してまいります。

答

問

高島市では第2子以降の保育料が無料となるなど、保育サービスは充実しているものの、保育士の確保が厳しい現状もあり、職員の長時間勤務の要因にもなっている。

保育士の資格を保有しながら保育士として働いていない「潜在保育士」の現場復帰のためのサポートは？

答 子ども未来部長

現役保育士等による退職者等への個別の声掛けや職員等の知人を通じ保育士を紹介いただいた際は、直接いろいろな話をさせていただき、不安の解消に努めております。

問

保育士の業務を補助する「保育補助者」の活用を支援するための国の政策「保育補助者雇上強化事業」「保育体制強化事業」を市として取り組んではどうか？

答 子ども未来部長

また、「福祉の職場説明会」や「保育所・認定こども園等就職フェア」では相談も受けております。他市では、潜在保育士や学生向けの「保育サロン」を開催し、復帰や就職への不安等の相談を受けている事例も一つとして調査研究してまいります。

「保育補助者雇上強化事業」「保育体制強化事業」は、保育士の日常業務における負担軽減等とともに、保育の充実にもつながるものと考えられるところですが、施設型給付費において高齢者等の補助業務での雇用に対し特別加算もあることから、他市の事例も勘案しながら調査研究してまいります。

問

ふるさと納税を活用して、保育サービスを提供する側の質を高めるという予算措置はできないか？

答 子ども未来部長

私立認定こども園等を運営している社会福祉法人等へは、施設型給付費を支出しており、保育士のキャリアアップの取り組みに応じた人件費の加算（処遇改善加算）などの制度もあります。そういったことから今の段階では、その配分については考えておりません。

その他の質問

● 学校教職員のメンタルヘルス



市内子ども園の保育の様子

旧市役所庁舎予定地の跡地利用検討の現状と今後の方針について

利用検討の現状と今後の方針はどのようになっているか。



早川 浩徳 議員

答

本年度は庁内で調査・研究等を行い進め方を議論しています。



昨年6月の条例可決で現庁舎の増改築の方針が決まったが、1年後の今、今津南沼地先の旧庁舎予定地の跡地利用について利用検討の現状を問う。

問 跡地利用に関する現状の進捗は。

答 政策部長

地理的条件にも恵まれた土地ではありますが、軟弱地盤等の課題もあり慎重かつ十分な検討をする必要があると考えております。本年度は関係部署による庁内検討会議を開催し、情報共有を図ると共に今後の進め方について意見交換を行ったところです。

問 検討委員会の設置及びスケジュールは。

答 政策部長

庁内検討会議で調査・研究と課題整理を行っており、委員の選考基準等についても今後の検討課題としております。



旧庁舎予定地の跡地（今津南沼地先）

問 市民の声はどのように反映させるのか。

答 政策部長

市民参加の組織を設けることも考えられますが、まずは当該土地の特性や問題点を整理した上で、今後の利活用方策の議論につなげる必要があると考えております。

問 地質調査結果および利活用を行う上での制約や障害は。

答 政策部長

表層4メートルの盛土層からコンクリート片が見つかり、また沼地を埋め立てしていることから、中層以上の建築物を建てる場合には、約50メートルの基礎杭が必要です。地震の際の液状化などの可能性があり、その対策が必要となるところです。

問 跡地はドクターヘリ発着場であるが、地震による液状化の際は。

答 政策部長

陸上自衛隊の大供グラウンドを利用することとなります。

問 北陸新幹線の敦賀以西への延伸を見越した観光面での活用は。

答 政策部長

日本海側からのアクセス向上の影響も考慮すべきと考えます。

問 本市の財産である発酵商品の研究機関等の設置、今津総合運動公園と連携したスポーツも出来る複合施設、ピイチの拠点として宿泊施設との連携利用等はどうか。

答 政策部長

貴重なご提案と理解しますが、現状では方向性は白紙で、具体的な検討の段階ではないと捉えております。